

議会だより

しょうわ

2012.10.24

No. **155**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



災害発生!!議員集合せよ!! ②

非常用貯水槽設置 ④

一般質問 **ここが聞きたい** ⑫

地域住民と議員の対話集会 **井戸端会議** ⑮

追跡 **あの質問はどうなった** ⑳

夢 **天までとどけ!!**

—押原中学校—

議員集合せよ!!

に基づき、災害時の対応を検証～

概要

8月26日午後12時35分「山梨県南部に位置する糸魚川—静岡構造線断層上を震源域とする大地震が発生し、その規模はマグニチュード7.0と推定され、昭和町の震度は5強」を記録し、昭和町災害対策本部が設置された。

災害時議員緊急連絡



〈本部長〉議長



〈副本部長〉副議長



〈班長〉各常任委員長



〈班員〉各委員

平成24年8月26日 午後1時10分

- 12時35分に大地震が発生(想定)、町が災害対策本部を設置し、議会も対策本部を設置のため、議長より各班長である常任委員長に連絡をし、それから議員に、議会対策本部参集の伝達がされました。
- 車が通行できないことを想定し、徒歩・自転車・バイクで各議員とも30分以内に集合しました。参集後、腕章とベストを受け取りました。
- 所属議員の安否確認の後、議長の指示で被害状況把握のため調査に向かい、帰庁後、被害状況報告と議長の講評を受けました。

3月議会で昭和町議会災害対策本部設置要綱(災害時議員行動マニュアル)が策定され、大地震を想定した参集訓練を実施したものです。



災害発生!!

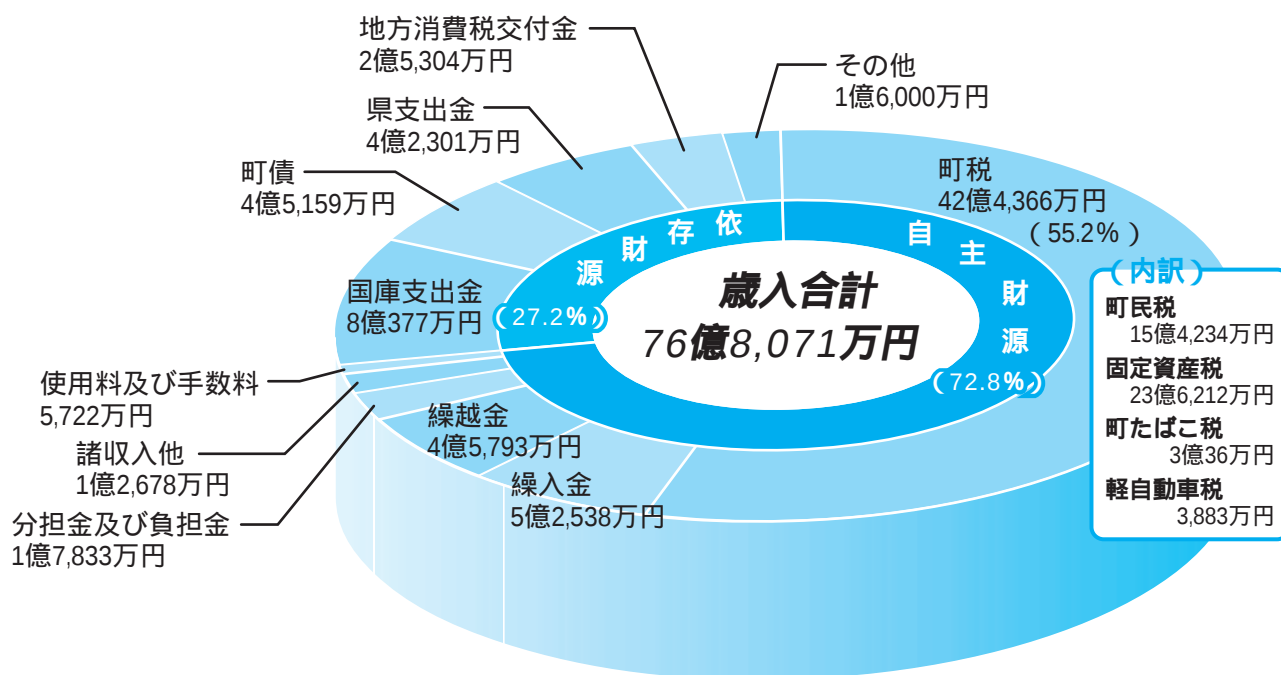
～災害時議員行動マニュアル



その他調査場所
山伏川下流(上河東区)
沼公園(紙漉阿原区)

非常用貯水槽を設置！

小中4校へ総数69台！



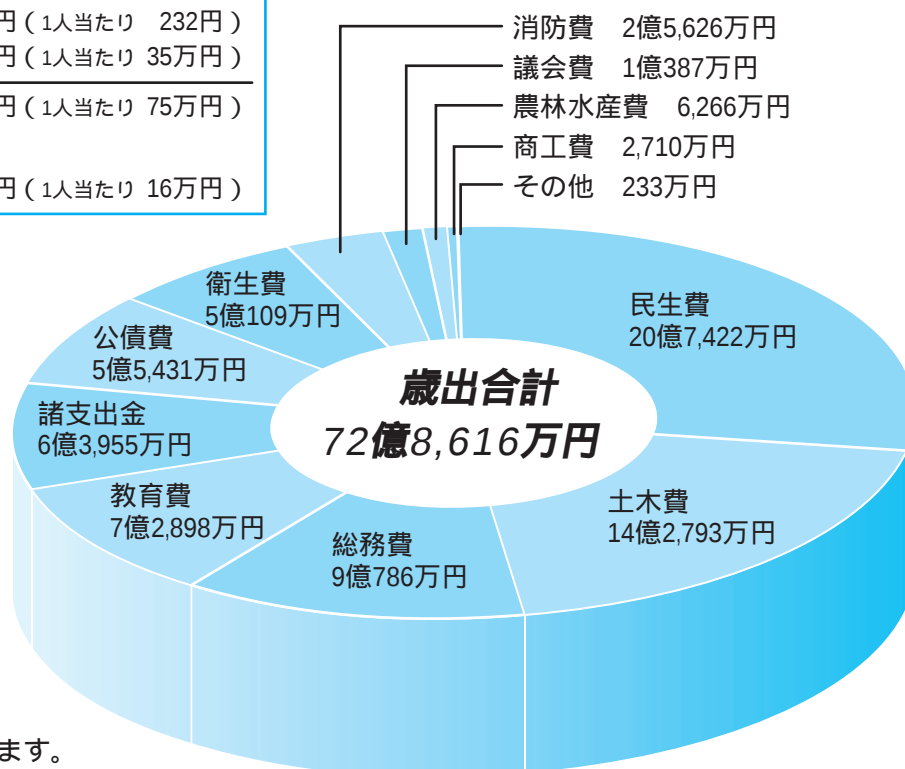
町債(借金)の累積残額

[一般会計]	71億6,199万円 (1人当たり 40万円)
[国保会計]	413万円 (1人当たり 232円)
[下水道事業]	62億1,306万円 (1人当たり 35万円)

[合計] 133億7,918万円 (1人当たり 75万円)

基金(預金)の累積残額

28億3,344万円 (1人当たり 16万円)



数値は端数調整してあるため
合計が一致しない場合があります。

平成23年度
一般会計
決算を認定

常永小に60トンの

エアコン設置

決算特別委員会は9月10日から12日までの3日間開催されました。

第3回定例会で決算特別委員会に付託された、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、渇水対策事業に対し、監査委員の意見書および各課長から説明を受け、いずれも慎重審査の結果、賛成多数で認定されました。（一般会計決算のみ反対：深澤平助議員）

平成23年度決算のあらまし

一般会計は約72億8,616万円、特別会計は6つの会計を合わせて、約33億4,870万円となり、計約106億3,485万円の歳出決算となりました。平成22年度と比べて約3%減少しています。これに対して歳入決算は歳出決算を約5億1,815万円上回る、約111億5,302万円となりました。経常収支比率では前年度より3.4%増加し、83.8%となりました。

町民1人あたり
約41万円
特別会計を含めると
約60万円使いました。
H24.3.31現在
人口17,742人

経常収支比率とは

義務的経常経費（人件費や扶助費、公債費など）に一般財源収入がどの程度充当されているのかを示すもの。町村では70%程度で、低い率ほど望ましい。

教育費



- ・小中学校費
2億4,976万円
- ・学校給食費
1億5,990万円
- ・温水プール運営費
7,356万円

土木費



- ・常永土地区画整理事業負担金
2億4,970万円
- ・道路工事請負費
6,685万円
- ・押原公園指定管理委託
2,084万円

〈一般会計〉

おもな使いみち

民生費



- ・保育所運営費
5億1,902万円
- ・介護給付費
1億5,222万円
- ・子育て支援医療費
7,449万円

総務費



- ・総合行政情報システム保守
3,786万円
- ・保養施設委託
265万円
- ・国母公園管理事業負担金
227万円

衛生費



- ・中巨摩地区広域事務組合負担金
1億7,898万円
- ・人間ドック委託
1,528万円
- ・ヒブ・小児用肺炎球菌接種費助成
289万円

消防費ほか



- ・避難所防災備品
817万円
- ・町商工会育成事業補助金
747万円
- ・農業振興地域農地保全助成金
337万円

公債費

（借金返済）



5億5,631万円

諸支出金



- ・基金積立金
6億3,954万円

（単位：千円以下切捨て）

平成23年度特別会計決算

(単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	16億6,436万円	15億8,088万円	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計	1億1,135万円	1億1,083万円	
介護保険特別会計	6億8,098万円	6億6,273万円	
介護サービス特別会計	1,289万円	1,276万円	
下水道事業特別会計	9億9,580万円	9億7,591万円	
渇水対策事業特別会計	690万円	556万円	

平成23年度健全化判断比率等の状況

平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれの指標も基準を下回っているため、**健全である**といえます。

財政健全化判断比率（％）

実質公債費比率	将来負担比率
9.7	60.2

財政力指数（単年）

H21	H22	H23
1.40	1.09	1.15

地方自治体の財政力を示す指数。
3年平均で1未満だと交付団体になる。

実質公債費比率は22年度と比べ0.1％増加しました。将来負担比率は22年度より9.9％減少し、実質的な標準財政規模に対する負担比率は低くなりました。実質公債費比率・将来負担比率ともに比率が小さいほど財政状況は良いと判断します。

23年度決算

**町内企業の業績は厳しい状況
助成・救済策も必要**

監査委員の決算審査意見

監査委員 石原 政彦
福島 正明

平成24年8月1日から7日まで審査しました。審査の結果と意見
各会計の決算は適法、正確に処理されており、計数的にも正確で、内容も適正なものと認めました。実質公債費比率は徐々に増加しており、今後とも地方債発行には財政構造の健全性を損なうことのないよう十分留意していただきたい。
補助金交付額の継続見直しが必要で、毎年多額の補助金を交付している団体等に補助金の必要性、金額の妥当性、補助金の使途について検証が必要で、バランスのとれた行政施策が必要です。
人間ドックの受診希望者は年々増加傾向にある
ため、多くの町民が受診できるような、個人負担金のあり方について検討の必要があり、さらにPRに努めてほしいと思います。また増加する傾向にある医療費に対し、国保財政は将来的にも憂慮すべき状況で、納税者への意識づけ、粘り強い徴収事務に努め、国保財政の基盤強化に努力するよう期待します。
歳出は経費削減と継続的な大型事業等を送り出したが、厳しい財政状況は今後も続くと思われる。費用対効果を検証し健全財政の維持を最優先に、均衡ある発展と規律ある財政運営を図られるよう、引き続き努力をお願いします。

決算審査特別委員会

コンビニ収納で滞納額を減らせるか

河住議員

コンビニ収納は、当初の見込みどおりか。

町民窓口課長

当初は一部未納と見込んでいたが、結果はそれよりよかった。

三井議員

他の収納機関との比率はどのくらいか。

町民窓口課長

国保の場合、口座振替が5割ほど。他4割が各金融機関や役場窓口で納められている。

深澤(平)議員

滞納額が多額で納入できる方、できない方の数は。

町民窓口課長

所得がある方が60人ほどいるが、滞納処分を考えている。個別に少しずつ納入する方もいる。

ホタルの放流、環境整備を図れ

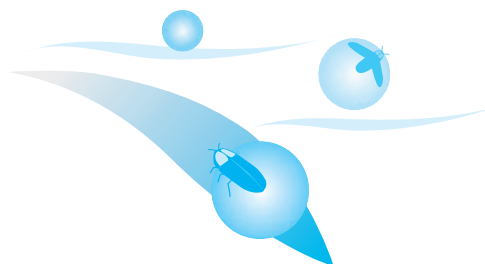
遠藤議員

ホタル愛護会が努力しているが、8千匹放流し、町内5力所で約百匹の発生だ。環境整備が大事では。

生涯学習課長

押原公園は明るい場所なので、放流

しても自然発生は難しい。教育長 公園内が暗いと防犯上安全性が損なわれる。幼虫を放流してもサギが食べてしまい、ネット設置や暗くするのが一番だ。ホタル愛護会と相談する。



ごみ監視の効果は

塚原議員

粗大ごみ監視委託をしているが、契約内容。

環境経済課長 前日と

前々日の午後4時から夜中までの監視。ひどいところ3力所は常駐。

塚原議員

不在になると粗大ごみを出す人がいる。監視委託が効果あるか疑問である。

下水道未接続の対応は

石原議員

下水道に接続していない人の対応は。

下水道課長

未接続者も年々増加傾向。今年度GIS(1)システムが整備完了となるので、未接続者台帳等を作成し、対応を考えていく。

メンタルヘルス研修は

河住議員

職員のメンタルヘルス研修を行ったが内容は。

総務課長

基礎的なことを全員で理解するため実施した。悩みが解消できたと思っている。

節電目標は達成できたか

深澤(平)議員

町の光熱水費が、震災の関係で前年より少なくなるはず。多いのはなぜか。

総務課長

庁舎内は、15%の節電目標が達成できたが、常永区画整理地内に新たな道路灯を多数設置したため増えた。

用語解説

1 GIS

コンピュータ上に地図情報やさまざまな付加情報を持たせ、作成・保存・利用・管理するシステム

2 メンタルヘルス

精神面における健康のことで、精神的な疲労、ストレス、悩み、などの軽減・緩和とそれへのサポート。

慎重に決算審査



平成24年度一般会計補正予算

ポリオ不活化ワクチン 自己負担無料に!!

一般会計 全員賛成で可決

一般会計は繰越金等を財源とし、3億1,572万円を増額し、総額69億8,039万円としました。

補正の主な事業としては、庁舎空調設備改修工事、予防接種委託料、水田農業改革支援事業補助金などです。

なお、1億9,022万円を基金に積み立てました。

特別会計補正予算 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計5,241万円増(総額17億6,841万円)
介護保険特別会計1,934万円増(総額7億419万円)
介護サービス特別会計28万円増(総額1,430万円)
下水道事業特別会計3,982万円増(総額10億9,182万円)



ワクチン接種で健康に

9月議会で 決まったこと

平成24年9月定例会は、9月4日から19日まで16日間の会期で開かれました。町長提出の平成24年度一般会計および特別会計補正予算5案件のほか、教育委員任命・固定資産評価審査委員任命同意2件、条例の改正4件、その他2案件の計13案件、ほか、請願1件を採択し、国への意見書を提出しました。また議員提出議案を追加案件として審議し、承認しました。

一般質問では6人の議員が12件について活発な質問・意見を展開しました。

条例の改廃

- ・防災会議条例及び災害対策本部条例の改正
- ・災害対策基本法改正に伴う一部改正。

- ・災害弔慰金の支給等に関する条例の改正

- ・死亡者に係る配偶者、子、父母、孫、祖父母のいずれも存しない場合、兄弟姉妹がいるときは支給できるとするもの。

- ・ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例の改正

- ・所得税法等の改正に伴う一部改正。

3 案件全員賛成で可決



委員会の模様

- ・高齢者医療費助成金の支給に関する条例廃止

県単老人医療費助成制度の廃止に伴う条例廃止。

平成25年4月1日より施行

賛成14、反対1（深澤平助議員）で可決

規約変更

- ・山梨県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

住民基本台帳法の一部が改正され、外国人登録制度が廃止されたことに伴う規約変更。

全員賛成で可決

事務委託

- ・昭和町と甲府市との間における公共下水道使用料徴収事務の委託

公共下水道使用料の徴収に関する事務の管理及び執行を甲府市に委託するというもの。

平成25年4月1日より施行

全員賛成で可決

人事

教育委員に

向山 晃氏再任



上河東区

固定資産評価審査委員に

磯部 寛氏再任



上河東区

全員賛成で承認

意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

・要旨

一、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。

一、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

一、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

・提出先

内閣総理大臣・内閣官房長官
総務大臣・財務大臣・文部科学大臣

全員賛成で採択され、意見書を国へ提出

議員提出議案の内容

視察研修の実施

目的

地方議会の責任・役割はますます重視されている。昭和町は地方交付税不交付団体と恵まれているが、人口増加に伴うモラル問題や都市化の反面、地域交流の希薄化などの課題を抱え、まちづくりはどうあるべきか、議会の立場から昭和町の発展を資するため、研修を行います。

実施時期

10月18日～20日

研修先

くげくん くみやまちょう
京都府久世郡久御山町

にわくん おおぐちちょう
愛知県丹羽郡大口町

9月定例会 委員会質疑

「水源対策特別委員会」

直売所付近、補償井戸の修繕料の補助金は？

長谷川議員 甲府市水道局から修繕料補助はないのか。
環境経済課長 ポンプ本体ではないので、補助金は出ない。
福島議員 見積りの段階で150万円かかるものに対し、当初予算の修繕料は96万円だ。その財源は。
環境経済課長 工事内容を見直し、予備費で充当する。

送水量の変化で影響は？

深澤平助議員 平瀬・昭和浄水場の送水量が36トンから23トンになった。町の影響は。
環境経済課長 水位が高くなつた等の話もないので、影響はない。
深澤平助議員 町が観測している2カ所の水位に変化はないか。
環境経済課長 町は年間を通じて、3カ所の水位調査を業者委託しているが、特別な変化はない。

「地方分権対策特別委員会」

協働政策評価シート（ ）について

遠藤議員 農業振興地域整備計画がC評価になっている理由は。
政策秘書係長 農業振興は助成制度創設や直売所の建設など取り組みを図り維持向上を目指しているが、今後徐々に成果が出てくるとしてC評価とした。
石原議員 担当課による自己評価は甘くなる。特に重要な部分は町長・総務課長などが評価すべきでは。
総務課長 評価シートについては、問題点や共通認識を持ち、改革会議の中で議論している。

協働政策評価シート
担当課が検討課題としている事業を抽出し五段階評価をするもの。

危機管理室を作る考えは

三井議員 町長直轄の危機管理室などを設ける考えは。
総務課長 消防・警察も含めた防災・防犯等を含めるのが理想だが、検討する。

「教育厚生常任委員会」

国民健康保険特別会計補正予算

河住議員 高額療養費の見込み率は。
町民窓口課長 当初は9・5%増を見込んだが、補正では平成23年度実績の4・7%増とし、増額している。
福島議員 退職被保険者等療養給付費は、当初の6,000万円に対し2,800万円の増額理由は。
町民窓口課長 7月分までの実績は平成23年度の40%増で、20年度から被保険者数・療養給付費ともに徐々に増えている。一人でも重い病気の人がいると大幅に伸びてしまう。

通学路の緊急点検

深澤平助議員 9月に通学道路要綱を定めたが、危険箇所が15カ所あるがその対応は。
学校教育課長 危険箇所15カ所は資料を配布。特に緊急に調査を必要とする箇所については関係者で現場調査を行った。
教育長 緊急危険箇所の再点検を行い、学校にも安全な方法をとるよう指導する。



危険箇所調査

「産業土木常任委員会」

下水道使用料
徴収事務委託

三井議員 徴収委託対象者の範囲と、徴収率4%アップの根拠は。

下水道課長 平成25年度以降の甲府市上水道のみの使用者が対象。平成23年度の昭和町下水道現年分徴収率が95%、甲府市上水道現年分徴収率が99%なので4%の伸びを見込む。

福島議員 甲府市への委託料が6000円/件ということだが、データ等の移動により追加、増減はあるのか。

下水道課長 6000円/件内で処理。

石原議員 甲府市使用料システム改修費6千万円に対する昭和・甲斐市・中央市の負担割合は。

下水道課長 3分の1が基本であるが、昭和町は甲府市と同じシステムにより、1、890万円、2市はそれぞれ2、020万円。

「総務常任委員会」

地震災害に備えて

石原議員 静岡県に比べ地震災害時の危機意識が非常に薄い。町民への啓もうは。

企画財政課長 広報・ホームページや、区長会を通じてのチラシ回覧などで、減災意識を広報したい。

塚原議員 消火栓設置場所が県道寄りの危険個所にある。交通量の少ないところに移動してはどうか。

企画財政課長 早急に甲府市水道局と打ち合わせ、検討する。

安心・安全な
まちづくり

深澤平助議員 押原公園の暴走行為や、最近は暴力行為も発生した。警戒態勢の強化は。

総務課長 指定管理者の徹底、また、ボランティアの会・役場・関係機関と対策を協議する。

田中議員 防災・防犯アドバイザー組織の強化は。

企画財政課長 アドバイザーは警察官OB24人でパトロール等の活動を行う。今後は消防職員OBにも入っていただきたい。



町の安全を守ります



ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

Q 地区担当職員制度の活性化を

A 全国に例がなく工夫改善し充実を図る



いしはら たかひろ
石原 高明 議員

一般質問

石原

地区担当職員制度が実施され2年が経過

する。制度の趣旨は住民や地区の自助・共助を、係長職の担当職員が支援し、行政による公助はそれを手助けする役割である。

地域支援は自助・公助を促すことが基本であるならば、住民または地区への行政からの情報発信に役割を絞った制度とし、様々な要望を直接聞くとするならば町長や幹部職員が自ら各地区に出向くべきだ。制度開始から2年間の効果、現行制度を活性化するための見直しについて、当局の考えを聞きたい。

町長

この制度は全国的に例がなく、プロジェクトや事業支援を具体的に行うものとは違い、経常的に区と行政の係係性を高める制度のため、効果は目に見えにくい。昨年行った検証結果に基づき、自主防災組織の学習や、新たな住民に組への加入促進チラシの作成等、地域のニーズに応える取り組みをしている。

一方、この制度は「ひとつくりまちづくり研修」の一つとして、職員の資質向上を図り町民との信頼関係を深めている。今後、提言の手法を参考に制度の充実を図り、町民の自主的、主体的なまちづくりを推進する。なお、町長と地域住民の意見交換会を11月に予定し、協働政策評価の一環として、これからの高齢者福祉の在り方を示したいと考えている。

再質問

石原

11月予定の意見交換会は、誰を対象にどのような方法で行うのか。

また「これからの高齢者の在り方」についての考えは。

町長

区民を対象に各地区に出向き開催する。

厚労省が発表した健康寿命と平均寿命とは大きな隔たりがあり、町民に健康寿命を少しでも平均寿命に近づけることが重要と考え、健康維持、予防の観点から町の施策を見直す。



『地区と行政』活発に

施策を問う

一般質問



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q 公会計整備推進の結果と課題は

A 行政の透明性を高める効果があつた

河住

本町は平成20年度決算分より、普通会計にかかる財務諸表4表を作成しているが、対応と考える方を問う。

改善された点と課題は、情報開示に取り組む姿勢と、職員教育は。

町長

平成20年度決算分より財務諸表4表を作成し、ホームページで住民に公表している。

単年度の歳入歳出の決算額だけでなく、本町と平均的な値とを比較し、予算編成時の参考としている。歳入歳出決算の状況に加え、資産やコストも含めた財政状況を公表し、行政の透明性を高める効果があつた。わかりやすい公表を心がけ、公金に当たっては担当係名を記載して、職員は住民からの問い合わせに親切丁寧に、分かりやすく説明するようにしたい。

Q 教育委員会会議録の公開は

A 広報に会議の概要を掲載

河住

教育委員会のホームページもなく、会議録も掲載されていない。掲載の考えと公開しない理由は。

携帯電話やインターネットによるいじめの認知件数、専門家と教師が連携し、調査と対策をとる考えは。

教育長

今後はホームページの「教育」

や広報の教育昭和のページの中で、会議の概要を掲載したい。会議の傍聴や情報公開条例に基づき公開を行うことで、理解されるものと考えている。

町内の学校ではこうした情報もなく、ネット上の書き込みはないと思われる。当面は、学校で注意深く監視を行い、児童生徒・保護者に対して、プロフ等の書き込みやインターネット、携帯電話の正しい使い方の指導に努めたい。

教育昭和



Q 都市計画マスタープランの将来像は

A 地区整備計画を策定する



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中

都市計画マスタープランは、都市計画を対象に、長期的な都市づくりの方向性を示すもので、町内全域が線引きの中に位置している。

西条地区はすでに市街地形成が図られ、整然とした街並みになり、常永地区は区画整理の進行で、将来的には西条地区同様、新市街地地域に変貌する。押原地区の一部は市街化区域にあるが、大半は調整区域・農業振興地域に線引きされている。

調整区域・農業振興地域の地権者の意見を聞き、都市計画マスタープランに関係住民の声を反映させるのか、将来像を聞きたい。

町長

都市計画マスタープランの中で、西条・常永地区は、市街化区域の残存農地等は計画的に宅地化を図り、良好な居住環境の確保、商業・業務店舗の集積に努めている。西条・常永地区の市街化調整区域と押原地区は、市街地整備の総合方針の中で、中・長期拡大地区となってい



まちづくり計画の基本的指針となるマスタープラン

るが、現状では集約型都市構造の考え方をそのまま当てはめることは困難だ。
市街化調整区域内の開発許可制度の運用を町で行うためには、開発許可権限を県から町に委譲を受けなければならず、専門知識等をもった職員も必要なため、常永区画整理事業

が完了し、進捗状況等を考慮しながら機構改革等を行い、市街化調整区域の中で、良好な土地利用を図られるよう、地区整備計画を策定したい。今後は、国、県と十分協議し、マスタープランの見直し・策定を進めていきたい。

Q ごみ分別と資源化の強化を

A 蛍光管回収ボックスも設置



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員

深澤

排出されるごみの量は年間5千トン、60%

が可燃ごみで焼却処分され、リサイクル22%と10年間比率は同じだ。分別すれば資源で使えるものが多く、行政指導の強化が必要だ。ごみ減量・リサイクルのため、企業が製品の製造から廃棄まで責任を負う「拡大生産者責任制度」の確立が強く求められる。町の考えは。

町長

昨年度は他市町村に先駆け、ごみの有価物化推進のため、各地区に蛍光管の回収ボックスの設置も行った。昭和町のように、ごみ減量化のための手厚い補助制度や、資源

回収ボックスなどの施設が整備された市町村は近隣にはないが、地区の環境保健委員・役員の皆さんの協力をいただき、取り組む課題だと考えている。拡大生産者責任制度は、国・県レベルの方針が大事で、機会あることに制度の充実を訴えていきたい。

再質問

深澤

可燃ごみの中にリサイクル可能なものがたくさん入っている。ごみの分別・減量に努めている人の経験を紹介するなど、PRを強化したらどうか。

町長

環境保健委員から提案をいただき、ごみ問題に対し一つひとつ粘り強く取り組んできたが、なかなか徹底できていない。いただいた提案を検討し、さらに努力する。



可燃ごみの中にも活かせる資源が

障がい者のプール等
使用料軽減を

現状の支援策を継続

深澤

温水プールやトレーニングルーム等、使用料軽減を図る考えは。

障害者の移動支援事業の内容は、所得に応じ3%、5%の自己負担だが、年間100時間を超過すると10%となる。超過した分を町が支援する考えは。

教育長

障がい者本人の使用料割引は、自立面からも現状の支援策（介護者・付き添い者無料）を継続し、運営委員会で検討したい。

町長

障害者の社会参加を拡大していくため、100時間を超えるものに対する利用者負担の加算制度は、関係機関に制度改正を要望していきたい。

Q 人・農地プランの作成推進を

A 担い手確保、農地利用集積を図る



なかざわ やすお
中澤 康夫 議員

中澤 農業所得はこの10年間で半減し、農業・農村を取り巻く環境は危機的な状況だがこれを改善するため「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成が重要だ。これは農地集積協力金、戸別所得補償制度の規模拡大加算、青年就農給付金、担い手への金融支援の無利子化など、国がいくつかの事業を準備し、これらの支援を受けるためには、プラン作成が必須条件となっている。

人・農地プランの原案作成のため、検討委員会の設置や規定を設け、農業者への周知も必要だ。プラン作りは町のあり方や、農業のあり方を決定づけるものだが町の考えは、



未来の農業者のために今できること

町長 農林水産省は「人・農地プラン」の作成を行い、集落の合意形成活動等を支援することにした。それを受け、県内でも24年7月に県農業会議で、農業委員会の事務担当者に対する説明会があり、町の農業委員会には説明された内容をお伝えした。県農業会議からは、プラン作成は市町村を主体に進めて

もりたいと説明があり、農地情報の提供や検討会への参画など、農業委員会に期待される役割を的確に果たしていくことが求められている。

町でもプランの作成と実現に農業委員会と協力し、担い手の確保・育成と、農地利用集積を進めなければならないと考えている。

今後、関係機関や農業委員会など、農業者代表との検討会に入っていきたいと考えている。

再質問

中澤 昭和町の調整区域を全面市街地化するまで、農業者のために最善の支援・施策の展開を図るのが行政の役目だ。町長の考えを問う。

町長 農業従事者は年々高齢化し、農家数も極端に減少傾向にある。市街化調整区域内の農地も170ヘクタールほど残っている。昭和町農地利用集積円滑化事業規定を定めるよう準備しており効率的な農業経営ができるような協力体制を整備したい。

Q 地域包括ケアシステム(を)

A 県の派遣事業を活用したい



かわだ 河田あけみ 議員

河田 介護保険制度が始まり、町でも認定者は年々増加している。これからは地域住民を巻き込み、地域と連携する、地域包括ケアシステムの体制が必要と思うが、町の考えは。

町長

県の地域ケア会議推進事業・アドバイザー

派遣事業を活用し、地域包括ケアシステムの構築と研究・推進を計画している。

Q 介護ボランティア制度(の必要性は)

A 次期計画策定時に検討

河田

ボランティア活動をされている方の多くは65歳以上である。励みになるよう、活動時間を年間ポイントとして貯め、換金できるようにすれば本人の介護予防にもなり、世代間の支えあいの絆も深めるのではないか。

町長

町ではポイント制は実施していないが、138人の方が無償ボランティアとして活動し、65歳以上の方が98人・71%で、70歳代の方が中心となっている。制度導入は、次期計画策定時の対応も含め検討する。

用語解説

地域包括ケアシステム

高齢者を医療・予防・住まい・生活支援サービスの面から総合的に地域と連携し見守っていくこと。

介護ボランティア制度

ボランティア活動をポイント制にし、限度額を決め換金できるようにすること。



ボランティア協会の講演会の様子

Q いじめ問題への取り組みは

A いじめを許さない出さない学校に

河田

今回問題になった大津のいじめ問題をどう認識し、どのように考えるか。

本町のいじめ問題への取り組みは、どのように行っているのか。

町長

この事件は学校や教育委員会の対応に問題があったと思う。いじめを出さない、許さない学校づくりに努め、早期発見と適切な対応をお願いした。

教育長

大津市は学校の教育委員会多くの問題点が大きく露呈していたと感じる。いじめを早期に発見し、事案に即した適切な対応をしっかりと図ることが大切で、いじめ防止はすべての学校・教職員が自らの問題として切実に受け止め、徹底的に取り組むべき重要な課題だ。

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次の開催予定

10月28日(日) 紙漣阿原区
10月30日(火) 西条新田区
11月17日(土) 築地新居区

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にあって課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

上河東区(第3回)

7月19日 上河東区公会堂

●出席者 区民 29人
●参加議員 総務常任委員会

三井 猛 石原高明
長谷川幸廣 塚原将司
野中敏美
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 常永駅周辺駐輪場に放置自転車が目立つ。定期的な撤去の考えは。

A 町で条例を定め、定期的に放置自転車の処分を行い、環境整備に努めている。

(年1回秋ごろ処分。南甲府署では「盗まれまチエーン」キャンペーンを行い、鍵をかけるなど放置自転車抑制に効果を上げている)。

Q 人間ドックは、申込者全員が受診できないか。

A 定員は350人だが、申込者は460人程度であった。補助金を見直し検討したい。

Q ハザードマップが全戸配布されていない。新しい避難場所は。

A 防災計画見直し中で、改定後全戸配布。転入者には役場で配布。

常永駅周辺の 放置自転車撤去を!



Q 防災訓練で水害訓練をする必要はないか。水害時の連絡者は。
A 水害は想定していないが、今後は必要と考える。被害想定の場合、県・町から指示伝達し、防災無線で全戸に注意喚起する。

西条二区(第4回)

7月21日 西条二区第一公会堂

●出席者 区民 46人

●参加議員 教育厚生常任委員会

河田あけみ 深澤克男

樋口敏夫 河住保茂

萩原 警議長

●地元議員 長谷川幸廣

おもな
意見・要望と議会の対応

はじめに36組の組長さんより
自主防災活動の紹介がありました。
自助、共助の考えを基に防災対
策を進めており、とても参考にな
りました。

Q 町では大地震に対する被害想定を、どのように想定しているのか。

A 震度6弱で災害対策本部を立ち上げるが、今年度中につくる地域防災計画で見直す。

Q AED設置を公会堂にという声もあるが、コンビニの店長に一時救命士資格を取得してもらい、いつでも使用できるようにしては、
A 公会堂への設置はカギの問題があり難しい。コンビニも受け手

大地震の被害想定 どう対処するのか!



が見つからず、病院・企業など設置個所を地図等に示したい。ホームページや広報で周知したい。

Q 消えかかっている道路の白線の早急な補修を。また、避難所に簡易畳の配備はできないか。

A 区画線の薄いところは建設課等で対応。停止線・横断歩道は警察署に要望。簡易畳は管理等が難しいが、要援護者の避難所は公共施設の和室を使用したい。

押越区(第5回)

8月18日 押越公会堂

●出席者 区民 18人

●参加議員 総務常任委員会

三井 猛 石原高明

長谷川幸廣 塚原将司

野中敏美

●地元議員 萩原 警議長

深澤平助

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 昭和町のブランド米は、ヒノヒカリでなくてもよいのではないかと。また、耕作できる環境を整えることは。

A ヒノヒカリは昭和町の気候に最も適している。収穫時期が少し遅く、耕作地の選択は難しいが今後、産地化していく必要がある。

Q 押原公園内で花火に興ずる若者があり、民家に向けて打ち上げるなど大変危険だ。注意すると暴力を振るい、警察沙汰となった。バイクの暴走も目に余るが、対応は。

A 防災公園としての役割や、公園遊歩道を散歩する人も多く、夜間閉鎖ができない。公園進入路に減速板や、駐車場に車止めを設置し暴走行為対策を講じ、警察のパ

トロール強化も依頼した。花火等
は有効な防止策はなく、地域と協力した注意喚起しかないのが現状。
花火禁止の掲示も新たに設置した。
Q 防犯・防災アドバイザーが委嘱されるが、各公園に待機所を確保し、活動しやすい環境を。
A 町在住の警察官OB 24人の会
員で構成。待機所設置予定はない
が、青色回転灯装備自動車でのパ
トロールや、学校・駅・公共施設
等を巡回、抑止効果や自主防犯組
織の活性化も期待される。



押原公園の 安全性を高めて!

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡 ①

常永駅駐輪場の問題

(平成20年6月議会 質問者：塚原将司議員)

問

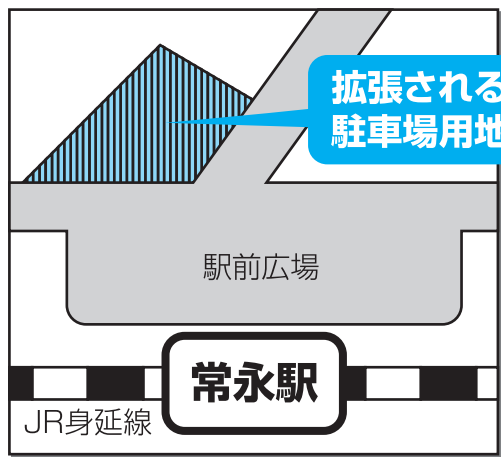
常永駅駐輪場の整備拡張を。

答

総合的に駅周辺の整備を図り、検討していきたい。

その後

地権者との協議を進める中で、今回9月定例会において常永駅駐輪場用地購入費として補正予算が可決された。大型ショッピングセンターがオープンし、今後も常永土地区画整理事業が進む中、総合的な整備計画を策定していく。



追跡 ②

下水道使用料の滞納問題

(平成22年3月議会 質問者：三井 猛議員)

問

下水道使用料の徴収率アップは。

答

上・下水道料金を一括徴収の方向で検討。

2市1町(甲斐市・中央市・昭和町)下水道使用料徴収事務に関する調査研究会議が開催され、具体的な事務協議が進められることになったので、滞納の削減、上下水道使用者に対し、利便性の確保やサービス向上を期する。

その後

24年8月に甲府市上下水道局と2市1町で基本合意に達する。協定締結後、平成25年度から一括徴収が開始される。これまでより徴収率の増加が見込まれ、納付が一括になることで住民サービスの向上、公平性の確保につながる。

現行

別々に使用料を徴収
していたものを...

上水道使用料
(甲府市徴収)

下水道使用料
(昭和町徴収)

平成25年4月から

上・下水道料金一括請求
(甲府市上下水道局徴収)

甲府市から一括請求され
徴収することになります

議会も三ヶ月一通信

～9月定例会を傍聴して～

身近に感じた議会



塩澤 政博さん

一般質問を傍聴させていただきましたが、国会中継を目にするせいか、迫力があまり感じられなかった。提示された質問、用意された答弁、そのあともう一步踏み込んだ攻めがあれば活発なやり取りができ、面白味が増すと思います。傍聴してみて議会が身近に感じられ、一般の人にも声をかけようと思います。

活発な委員会質疑



渡邊実千代さん

教育厚生常任委員会を傍聴させていただきました。本会議の一般質問と比べ、予算の細かい部分まで議員さんが真剣に取り組まれている姿勢や、様々な意見を聞くことができ、このような形で町の予算が使われていることも知り、私自身大変勉強になりました。同時に議員さんには他の委員会もあり、議案もたくさんある中で地域の事や町民の事を考えて討議されていることに、敬意を表します。次回は別の委員会も傍聴してみたいと思います。

次回も傍聴したい



中澤 正志さん

産業土木常任委員会を傍聴させていただきました。当日は農産物直売所に対する県からの補助金等について、大変真剣な話し合いがもたれました。次回も可能であれば委員会の傍聴をしたいと思います。

猛暑の7月30日、31日、東京の砂防会館で第76回町村議会広報研修会が行われ、全国から135町村627人が集まりました。

【1日目】

伝わる！わかりやすい文章を書く
広報誌におけるレイアウト表現の基本
写真の撮り方

【2日目】

議会広報クリニック

今回の内容は、議会広報には「何を書くべきか」「何を伝えたいのか」「短文で語る技術」「タイトル・リード分の重要性」や「読みやすい紙面の流れ」など、大変具体的な内容で非常に勉強になりました。全国の議会広報は「最近非常に充実しておりレベルが高くなっている」との講師の言葉どおり、皆さんとても熱心に質問も多く、時間が足りないくらいでした。

改めて、住民にわかりやすい誌面づくりや言葉

- 参加委員 河住 保茂 河田あけみ 三井 猛
深澤 克男 林 和仁 石原 高明
- テーマ 伝わる議会広報とは

の表現をどうしたらよいのか、ますます悩む日々が続きそうですが、少しでも今回の研修成果を編集に生かせるよう努力してまいります。

今後とも「議会だより しょうわ」を読んでいただき、ご意見ご感想をお願いいたします。



山梨学院大学との勉強会スタート!!

7月20日、第1回目の勉強会が開かれました。

初日は外川教授の「討議民主主義(熟議制度)と住民投票」、2回目の8月20日は山本教授の「認定こども園をめぐる公共政策の課題」というテーマで講義を行いました。

2人の先生方には貴重なお時間の中、熱心な講義をありがとうございました。



外川教授



山本教授

広報編集特別委員会

視察受け入れ



7月18日、山形県白鷹町議会広報特別委員会が訪れました。

広報編集や写真の選定方法など、編集手順について熱心な質疑応答が交わされました。

白鷹町では1年生議員が編集委員になっているとのことで、その苦労さを話され、昭和町の議会でも課題になっている話をするなど、互いに切磋琢磨しながら、より良い議会広報づくりをしていこうと意識づけ合いました。

白鷹町議会の皆さま、ありがとうございました。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だよりを読んでください

空欄に適切な言葉を入れてください。

- 1 8月26日に災害発生を仮定し行った、議員○○訓練。
- 2 平成23年度決算認定！主な成果として常永小に非常用貯水槽○○トン設置。
- 3 議会広報視察受入、○鷹町議会と意見交わす。

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました！

- 議会だよりについて、構成が良いの。
1. 議会だより「しょうわ」は読みやすく、理解し易い。過去コーナーで入賞した記事がよくわかる。
 2. 議会モニターを設置したことには大変な事だと思いき、議会がより身近に感じます。
 3. 井戸は「議会」も成果が大きいのでこれからは続けてほしい。市民の生の声を市政に反映してほしいです。

普段の生活では気付くことの出来ない昭和町を、議会だよりを通じて発見することが出来ます。これからも、昭和町民として、昭和町の良さだけでなく、問題点を知り、更に昭和町への理解を深めたいと思います。

住みやすい町づくりにしようと
小さな事まで議論している事が
わかりました。
これからも素敵な町づくりを
お願いします。

議会だよりを読んで

1. 議会モニター制度スタートから。
モニター応募してモニターになられた方々の「ふとこ」や「大のこ語」の記事から市政をよくするんだという意気込みが伝わってきました。
2. 色紙「あの一般質問はどうだった」
議員の質問に対する当局の回答とその他の結果が写真付きで掲載され分かりやすかったと思いき。

153号クイズの答え

6 恵 4967

～訂正とお詫び～

前回No.154号表紙の掲載写真の場所が『押原児童館』と記されておりましたが、正しくは『押原保育園』の誤りでした。訂正して、お詫び申し上げます。

また議会だよりではお伝えしきれない議会の様子を昭和町公式ホームページでご覧いただけます。ぜひ、検索してみてください。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX：055-275-5250
- メール：gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

11月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

自然豊かな昭和町と 素晴らしい子どもたち



紙漕阿原区

池田 和子さん

春は小鳥のさえずり、夏は蛙の鳴き声と、四季折々の自然を感じることができ、ここ昭和町。そんな昭和町に越してきては17年が過ぎ、年を重ねることに自然の中で穏やかに過ごせることを、心から感謝する毎日です。

朝、目を覚ますと野菜が玄関先に置いてあります。周りの方々が、自分たちの畑で採れた新鮮な季節野菜をお裾分けして下さるのです。このような豊かな自然と、人との温かい絆を感じられる昭和町。本当に大好きです。

先日、子どもクラブの方々と催しをする機会があり、素直で明るく行儀のよいお子さんたちに接し、こんなに素敵な子どもたちが阿原に住んでいてくれることに、明るい阿原の未来を感じた一日となりました。

忙しい甲府の中心街に住んでいたころから比べ、ゆったりとした、のどかな暮らし。散歩中、会う人皆さんが声を交わし合ったり、学校帰りの子どもたちが見知らぬ私たちにも元気にあいさつをしてくれたりなど、人の温もりを感じる町です。

これからも、この自然豊かな環境が守られ、ここで暮らす人たちが互いを慈しみ、心穏やかに過ごせる昭和町でありますよう願っております。

地域ぐるみで育てる町



河東中島区

依田 公子さん

昭和町に住み始めた時は、幼かった3人の子どもたちも、大学生と高校生になり、子育ても一息というところとなりました。振りかえって思うことは、今まで本当に恵まれた環境の中で、地域の人たちに見守られながら、安心して子育てができたということです。

昭和町は教育施設が他市町村に比べ、充実していると思います。小さな町でありながら、小学校は3つもあり、どの校舎も新しく改修されました。開放感があり温かみのある校舎は、子どもたちの情緒を豊かに育ててくれるはずです。地域交流センターは、スポーツや文化の交流拠点として多目的に活用され、学校や校庭の有効活用も盛んで、多くの住民がのびのびと活動できる環境が整備されていると感じます。

また、子育て支援の取り組みも充実していて、中でも「ファミリーサポートしゅわ」は、核家族が増えている昭和町において、重要な役割を担っています。子育てを手伝ってほしい人にとつて、経験豊かな地域住民は心強い存在であり、地域の中で子育てを支えあつことの意味は深いと思います。今後も次世代を地域ぐるみで育てていける町として、発展してほしいと願っています。



今年の夏は例年になく記録的な猛暑日が続き、節電を強いられる中で、企業や家庭では、熱中症対策など健康管理に頭を悩ませたことと思います。大正12年9月1日に発生した関東大震災の惨事を忘れ、防災意識を高め、これに対応する心構えを準備するため「防災の日」が制定され、今年も各地区で防災訓練が行われました。

議会においても、災害時に、議員自らが迅速かつ適正な対応を図るため「災害時行動マニュアル」に従い、災害の発生を想定し、8月26日に参集訓練を行いました。町民の安全を守るため、各議員とも真剣に取り組み、よい結果を残す訓練になりました。

今回No.155をお届けいたします。夏バテを癒やししながら目を通していただき、ご意見・ご感想をいただければ幸いです。

。広報編集委員会

委員長 河住 保茂
副委員長 河田 あけみ
委員 三井 猛 深澤 克男
林 和仁 石原 高明

(林 和仁・記)

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

12月11日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(河西・小林)